

和気俊郎先生を悼む

著者	久米 修
雑誌名	植物地理・分類研究 = The journal of phytogeography and toxonomy
巻 号	51 2
ページ	199-200
発行年	2003-12-25
URL	http://hdl.handle.net/2297/48623

○ 久米 修：和氣俊郎先生を悼む Osamu Kume : Obituary of the late Mr. Toshiro Wake

本会会員であり香川県の植物研究家として知られる和氣俊郎先生が2003年4月23日に逝去されました。享年78歳でした。

先生は1926(大正15)年香川県にお生まれになり、戦前戦後を通じて教職につかれ、香川県大手前高等(中)学校を最後に教壇を辞されました。退職後も同校の講師を務めながら元気に活動されていましたが、1995年に肺気腫を発病して入院され、一時回復されましたが、1998年に気胸を併発して外出を差し控えられる様になりました。その後入退院を繰り返されていましたが薬石功無く、不帰の旅人となりました。ここに香川県の植物研究者各位に代わりまして、心から先生のご冥福をお祈り申し上げます。

先生は、在職当初から生物、特に植物の世界に興味を持たれ、余暇を惜しんでは県内はもとより県外各地に足を運び、多くの山野に足跡を残されました。野外調査の際は、常時携行しているノートにメモを採り、旅程の車中においても車窓から見える植物を黙々と記録する姿をお見掛けしました。植物に関する知識はほとんど独学で修められたものですが、植物一般に造詣が深く、特に帰化植物と植生学を得意分野とされていました。帰化植物の分野では、戦後早くから香川県内を調査して回り、香川県における帰化植物研究の先人第一人者として知られていました。香川県の植生は全県に渡って熟知され、国や県等の植生調査依頼を積極的にお引き受けになり、植物遷移や極相について独自の見解と理論を構築されていました。誰彼分け隔てなく真摯に対応される人柄から多くの学友や草友をお持ちでしたが、植物の話題を一つでも多く吸収しようとする姿勢にあふれており、発芽したばかりの子葉の段階で種を判別してみせる様な観察眼をお持ちでした。

先生はご自分の研究のかたわら、香川生物学会評議員、香川県自然環境保全審議会専門委員、丸亀市環境審議会委員などの要職を務められました。また後進の指導にも力を注がれ、植物知識と自然保護思想の普及啓発を目的として多くの会を主宰されました。1947年に設立した西讃生物同好会は、現在の香川生物学会に発展しました。1973年に設立した香川植物の会は現在も活動中の同好会ですが、20年に余り先生手書き編集の会誌を毎月発行し、会の中心となって発展に寄与されました。香川植物の会では、1973年から先生の発議で香川県植物目録の作成に着手し、この成果が1980年に香川県植物誌となりました。

いつまでもお元気で我々後学の徒にご指導いただけるものと勝手な思いでおりましたが、先生亡き今、あれもこれもお教えいただきたかったと悔いが残り、大きな喪失感にとらわれています。以下に先生の主なご著作を紹介して、生前のご功績を偲びたいと思います。

女木島の植物(1957) 観光学術読本 鬼が島：21-26 高松市、高松

大川郡多和・五名・福栄の植物(1958) 香川植物研究資料 1：5-20

讃岐帰化植物雑記 1(1958) 香川植物研究資料 1：21-22

五色台の植物(1959) 香川植物研究資料 2：30-52

讃岐帰化植物雑記 2(1959) 香川植物研究資料 2：55

高松の帰化植物(1961) 観光学術読本 南郊高松：66-70 高松市、高松

琴平山の植物(1971) 文化財協会報 10：49-68

香川の動植物(1974) 共著 市民文庫シリーズ 4 203 pp. 高松市、高松

マツクイムシによるマツ林の植生の変化 休閑地の植生と帰化植物との関係(1975) 香川県の植生 1 香川県大手前高等(中)学校：1

水田あと地の冬期植生(1975) 香川県の植生 2 香川県大手前高等(中)学校：37-82

紫雲山塊の植生(1975) 香川県の植生 3 香川県大手前高等(中)学校：83-114

香川県樹木シリーズ 1~3 (1975~1976) 瀬戸内 2~4

香川県帰化植物目録 1(1977) 香川生物 6：11-14

善通寺市史第1巻 植物編(1977) 1015 pp. 善通寺市、善通寺

香川県帰化植物目録 2(1978) 香川生物 7：9-12

讃岐の植物 1~15 (1978~1980) 季刊「新香川」 四国公論社

香川県の植生 4 水湿地の植物(1979) 日本私学教育研究所紀要 14(2)：325-349

香川県帰化植物目録 3(1979) 香川生物 8：5-8

香川県の植生 5 シイ、カシ林(1980) 日本私学教育研究所紀要 15(2)：329-350

香川県帰化植物目録 4(1980) 香川生物 9：4

香川県植物誌(1980~1983) 共著 113 pp. 香川県、高松

- 香川県の植生 6 帰化植物 (1981) 日本私学教育研究所紀要 **16**(2): 457-493
- 国市池の植生 (1981) 共著 国市池生物調査報告書: 32 香川県, 高松
- 香川県自然環境保全指標策定調査研究報告書 植生編 (1981~1987) 共著 216 pp., 422 pp., 264 pp., 345 pp., 331 pp., 228 pp., 94 pp. 香川県, 高松
- 山草お国自慢 34 香川県 (1983) 趣味の山野草 **34**(2): 79-84
- 讃岐丘陵公園予定地の植物相と植生 (1985) 共著 pp.53-86 香川動植物の会
- 琴南町誌 植物編 (1986) 1117 pp. 琴南町, 琴南
- 満濃池 1300 年の歴史を語る溜め池 (1987) 日本の湖沼と溪谷 11 pp.156-159 ぎょうせい, 東京
- 空と緑の散歩道 (1988) 共著 235 pp. 香川県, 高松
- 香川の自然と植物 (1990) 共著 市民文庫シリーズ 16 251 pp. 高松市立図書館, 高松
- 森の妖精ユキモチソウに出会える琴平山 (1992) 日本列島花 maps 中国・四国の花 pp.80-83 北隆館, 東京
- 香川県自然環境保全調査調査研究報告書 植物編 (1993~1995) 共著 134 pp., 114 pp., 111 pp. 香川県, 高松
- 町史ことひら 1 植物編 (1996) 321 pp. 琴平町, 琴平
- (〒761-8074 高松市太田上町 78-11 Ootakamimachi 78-11, Takamatu 761-8074, Japan)